

平成 28 年度第 2 回麒麟のまち創生戦略会議議事概要

日時 平成 28 年 7 月 25 日(月) 午前 10 時～正午
場所 大江ノ郷自然牧場 大江ノ郷ヴィレッジ 2 階 会議室
出席者 鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、
香美町副町長、新温泉町副町長

議事概要

1. 開会

《鳥取市副市長》平成 28 年度の第 2 回麒麟のまち創生戦略会議を、この大江ノ郷で開催する。今日は、総務省の小川市町村課長様の講演をメインテーマとさせていただいている。

《鳥取市長》平成 28 年度第 2 回麒麟のまち創生戦略会議ということで、八頭町様大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

今、地方創生の取り組みで、全国の自治体がそれぞれの持ち味や魅力を生かして、将来を見据えたまちづくりを進めていこうとしている中、鳥取市は中核市の移行を平成 30 年に目指している。

連携中枢都市圏についても、これから具体的な検討を進めていきたい。

今日は、総務省の小川市町村課長様に、お忙しい中お越しいただき、講演をいただくということで、ぜひこれからの取り組みの参考にさせていただきたい。また、新たな広域連携促進事業ということで、県境を飛び越えていろいろな取り組みを一緒にやっけていこうとしているところだが、この取り組みが更に進んでいくことを願う。

《鳥取市副市長》事務局から改めて小川課長様のご紹介をさせていただきたい。

《鳥取市》 総務省自治行政局市町村課長の小川康則様は、東京大学をご卒業後、平成 3 年 4 月に当時の自治省に入省。その後、自治行政局行政経営支援室長、大臣官房広報室長などを歴任され、平成 28 年 6 月から現職の自治行政局市町村課長に就任。また、この間、札幌市調整課長、京都府地方課長、岡山県総務部長などもご経験され、地方自治は非常によくご存じである。

本日は、連携中枢都市圏の形成に向けた勉強会ということで、連携中枢都市圏についてお話をお願いした。また、新たな広域連携事業に関しての考え方など、意義深いお話をお伺いできていると思っている。

《総務省小川市町村課長》先月この仕事に就いたばかり。みなさんに追いつくべく、一生懸命勉強していたところである。今日は短い日程ではあるが、こちらに足を運ばせていただいて大変嬉しく思う。

2. 講演

○「連携中枢都市圏について《総務省小川市町村課長》

意見・質疑応答

《岩美町長》連携中枢都市圏は、我々も取り組みを始めているが、非常に取り組みづらい中身になっている。連携中枢都市の条件は人口 20 万人以上（中核市）ということだが、これ以外の市町村について国はどう考えているか。

もう一つは、制度が定住自立圏から連携中枢都市圏へと目まぐるしく変わりすぎる。果たして国は何を考えているのだろうかという疑問がある。

《総務省小川市町村課長》広域連携を牽引するだけの力がある都市は限られる。国では、人口が 30 万人や 40 万人程度だと思っていたが、いろいろな配慮があって 20 万人程度になった。これを更に、10 万人でもいい、5 万人でもいいという形にはできない。施策が変わりすぎることにについては、本当は定住自立圏の話

のときに連携中枢都市圏くらいのことをやりたかったが、まだ合併が形成に向かって進んでいるところで、できなかった。本当にやりたかったところをリベンジして、連携中枢都市圏としてやっているというのが今の流れ。言われる通り、小出しにしており、ぶれてしまっているのは申し訳ないと思うが、本当は連携中枢都市圏くらいの規模のものを早くから打ち出すべきだった。

《若桜町長》私のところも 3,300 人の小さい町で合併しなかった。人口が減少して、将来どうなるのだろうと思っている。公共施設を維持管理していく問題もある。

《岩美町長》運営費を中心市が負担する等を要綱等で明文化してもらいたい。また、人口動態を見ていると、近隣町から鳥取市に転入し、その鳥取市自体も人口が少なくなるという状況。人口減少対策に本当に困っている。

《総務省小川市町村課長》人口動態については、基本的には一方向にしか流れないので、それをダムでいかに食い止めていくかということ。今のままダムを使わずにいくのではなく、引き留める間に施策を考えていこうというライン。

3. 報告事項

○新たな広域連携促進事業(総務省委託事業)について《鳥取市》資料 2-1、2-2

意見・質疑応答

《八頭町長》アンケートは、各市町の人口按分でやるのか。

《鳥取市》プロポーザルの業者との協議になるが、人口比でやりたい。各町とも相談しながら、アンケートの具体的内容について、これから協議をしたうえで実施したい。

《八頭町長》サンプル数はどのくらいを想定しているのか。

《鳥取市》総務省に申請するにあたってのサンプル数は約 4,000。

《鳥取市副市長》これで進めさせていただく。11 月に第 3 回創生戦略会議の中での中間報告ということでお願いします。

4. その他

《鳥取市長》今月 30 日に県民文化会館で、山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議を行うので、参加いただき、盛り上げていただきたい。

もう 1 点。麒麟のまちということで、麒麟獅子がキーワードになっている。今後も圏域の連携を深めて進めていきたいので、それにあたって麒麟獅子舞をひとつのキーワードにした取り組みをしていければと考えている。県境を越えて伝統文化が継承されているということで PR できる。

《八頭町長》本年度は移住定住相談会はやるのか。

《八頭町》行方が首長の出席は考えていない。

《岩美町長》岩美町、香美町、新温泉町では図書館の相互利用をやっている。

《鳥取市長》相互に利用できるシステムを作り上げるのは可能。図書館の利用や医療、福祉、いろんな面で連携が必要な分野がある。

《鳥取市副市長》麒麟獅子舞は一堂に会しやったことはない。因幡の祭典の時には 5 つくらいがステージで舞ったが、県境を越えてとなると無い。

《新温泉町副町長》新温泉町では 9 つの地域すべてが麒麟獅子舞を披露するために一堂に会し、腕を磨き、その後は伝統文化などを披露する形で行っている。

《鳥取市長》鳥取には麒麟獅子が多いが、神楽獅子もありそれも伝承されている。神楽獅子の 2 頭舞のところもある。麒麟獅子は縁起のいい動物。共通のキーワードでアピールできる何かないか考えている。例えば日本遺産とか。ストーリーを持たせて。

《鳥取市副市長》日本遺産について研究させていただいてもよろしいか。

《若桜町長ほか》よい。

5. 閉会